

文化庁委託平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
外国にルーツを持つ子どもたちのための日本語指導者養成セミナー



約30人が日本語指導のポイントを学んだセミナー—徳島市のヒューマンわーくびあ徳島

日本語指導の ノウハウ学ぶ

徳島市で養成セミナー

日本語を母語としない子どもたちに日本語を教える際のポイントなどを学ぶ「日本語指導者養成セミナー」が30日、徳島市のヒューマンわーくびあ徳島であり、約30人が参加した。

国際日本語普及協会(東京)の日本語教師、金草苗さんが、小中学生に日本語を指導する際のノウハウを説明。中学生

の場合、教科書だけでなく、漢字にルビが振られた子ども向けの本や新聞も良い教材になると紹介した。

多感な時期の子どもには自信を持たせることが大切だとし「母国をほめてあげたり、成功体験を積み重ねさせたりすることで日本語習得にも前向きになる」と強調した。

セミナーは、市民団体「JTMとくしま日本語ネットワーク」が文化庁の委託事業として初めて開いた。(石津遼)